

クリスマスメッセージ 2022年12月25日

皆さん、主のご降誕おめでとうございます。

今日は、皆様と一緒に、救い主イエス・キリストのご降誕を、お祝いできますことを、心から主に感謝いたします。2千年前、私たちを愛し、私たちを救いたいと、切に願われた神様は、独り子イエス・キリストを、この世に送って下さいました。このクリスマスの恵みと喜びが、今晚、私たちを、豊かに覆い包んで下さいますように祈ります。そして、あのクリスマスの夜、幼な子イエス様が、飼い葉桶に寝かせられたと同じように、今晚、私たちの、心の中に、主イエスが、宿って下さいますように、お祈りいたします。

さて、今日、私たちは主イエスの誕生日を共に祝うためにここにきました。なぜなら、この主イエスの誕生日は、神が私たちを本当に大切にし、愛してくださっていることを示しているからです。主は私たちと共に**おられます**。このことは私たちがこれまでに経験したことのない最高の喜びだと思います。

クリスマスは、教会に人が溢れるほど集まる時です。皆さんの中には、ほとんど毎週日曜日のミサに参加している人もいれば、そうでない人もいます。

一人一人、さまざまな状況の中に生きていますが、今日、私たちが主の誕生を祝うためにここに共にいることをうれしく思います。

私たちは信仰共同体の中で、家族の中でクリスマスの出来事を喜んでいますが、この時もさまざまな理由で困難な中においてクリスマスを喜ぶことのできない人々がいます。経済的にだけでなく、さまざまな面で恵まれない兄弟姉妹がいることを考えています。私たちは、祈りだけでなく、行動においても、**信仰**においても、彼らにどのように寄り添うことができるか考えましょう。

クリスマスは子供たちのためのものと考える人もいるかもしれませんが。確かに、一人の子の誕生をお祝いすることです。しかし、生まれた子は私たちすべてのものに喜びを与えてくれるのです。この子は私たちを最高に幸せにしてくれるためにこの世に生まれてきたのです。この特別な子こそ、神の子であり、マリアの子であるイエスです。クリスマスは子どもたちも含めたすべての人のためにあります。

クリスマスは、神がその愛という贈り物を私たちと分かち合うためにイエスをこの世に送ってくださったことです。

私たちの心の奥底には、私たちが自分で認めるか認めないかにかかわらず、神の愛への切望があるのです。この世では私たちの心からの望みを満たしてくれるものは、神の愛以外にありません。

旧約聖書を読みますと、神は私たちと愛を分かち合いたいというしるしをたくさん送っておられることが分かります。まず、神は世界を創造されました。神に似せて人間を創造されました。

それだけでなく神は「神の民」を選ばれました。神は「預言者、先見者、賢者」を遣わして、その愛を伝えました。ところが、その神の愛のしるしのほとんどを私たちは見逃しました。神の遣わされた預言者を拒絶したこともあります。神は私たちに愛を示すことをあきらめることもできたでしょう。しかし、神は直接、神ご自身が神の愛をしめすことをされたのです。その出来事がクリスマスです。父なる神は、動物用の飼い葉桶に無力な赤ん坊として神の子を誕生させられました。つまり、私たちに御子を遣わされました。確かにクリスマスの場面に天使はいましたし、空は神の栄光で照らされていました。このクリスマスの出来事で、見落としてならないのは、この御子は、私たちがこれまで見たどの赤ん坊よりも無力であることです。肉体的にも、経済的にも、そして何よりも霊的にも、人間の貧困のどん底の場所にお生まれになったということです。

なぜ神はご自分をこれほど小さく、これほど弱く、これほど貧しくされたのでしょうか？ その答えは簡単です。

神は私たちが愛しておられ、私たちが救おうと願っておられるからです。もし、神が権力と威厳をもって来られたなら、私たちは神を恐れるかもしれません。私たちの忠誠を勝ち取ることはできるかもしれません。しかし、神の愛を知ることはできなかつたでしょう。神はその憐れみにより、幼子として生まれさせました。人間の姿となることで私たちの心に触れ、心を温め、不信仰を溶かすことができるのです。そのために御子を遣わされました。

神が求めておられるのは、神の愛を阻む障壁を取り除くことです。それがどんなものであれ、私たちが日常生活の中で神を寄せ付けないような言動であれ、それを取り除くことです。しかも、神様は私たちが自分でその障壁を取り払うことを求めていません。イエスはわたしたちのために無条件で私たちのところに来てくださったのです。私たちができることはただ、神の愛を受け入れることです。

わたしはマザー・テレサの言葉をおもいだします。神の愛を受け入れるために私たちがすることは「あなたのこころに入る許可を神に与えなさい！」という言葉です。それは、私たちの心の中に入れてください、愛と慈しみを与えてください、と神の招きに応じることです。

それでは、このクリスマスの祝祭を靈的に祝うにはどうしたらよいのでしょうか？ 本当にこのキリストの誕生日は、私たちの心に入り込むことができるのでしょうか？

イエスはご自身の誕生日を祝うための重要なことを私たちに教えてくださいました。

イエスは福音の中でこう言われました。「はっきり言うておく。心を入れ替えてこどものようにならなければ、決して天の国に入ることはできない」（マタイ18：3）。

この「子供のようになる」という言葉は、もちろん、幼稚であることとは関係ありません。ただ、キリストのような心、つまり柔和で温かな心、憐れみ深い心、信頼する心を神からいただくことなのです。

それでは私たちは何をすべきでしょうか。毎日、聖霊の導きを祈り、主が私たちの心の中に入れてくださることを願うことです。

それは、私たちは自分のことではなく、周りの人、特に必要な人のことを考えることでもあります。神の憐れみ深い愛に圧倒されることにより、神の愛にみたされることにより、私たちはその愛を他の人、特に貧しい人、病気の人、見知らぬ人、投獄された人に分け与えたいと思うようになるのです。

今日、私たちが、信仰をもったときのことを思い出しましょう。そのとき、私たちが主を探しに来たのではありませんでした。そうではなく、主がまず、私たちを探しに来てくださったのです。

今日、私たちは、自分の人生にイエスを迎え入れましょう。そして、私たちが日常生活で出会うすべての人々にクリスマスの喜び、イエスの愛を分かち合うことができるように祈りましょう。

Merry X'mas!!!

Lazun naw san Vincent (pime)